

令和4年度事業計画

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

基本方針

新型コロナウイルス感染症の蔓延がはじまり、早3年目。昨年秋には、急激に感染者数も少なくなり収束に向かうのではないかと安堵したのも束の間、変異株によりその勢いは衰えてはいない。人流抑制の影響を受けた多くの事業者は経営難に陥り、とくに従業員を雇用し店舗を借りて事業を行っている事業者は大きな影響を受けている。その支援策として、当会も国の認定支援機関に準ずる機関として、毎日数件の事業復活支援金の相談を受けている。

そのような状況下の中、原油をはじめとした原材料価格の上昇、円安などによる生活必需品の高騰に加え、ロシア・ウクライナ情勢絡みの物価上昇。飲食業ばかりではなく、建設関係も資材が入ってこない為に仕事が進まないということも聞いた。

このように問題が山積しているのにもかかわらず、令和5年10月からインボイス制度が始まる。当会としては、全青色と連携協調しながら直接議員陳情に出向き陳情書を手渡しするなど、延期・中止に向け働きかけている。個人事業においては8割にのぼる免税事業者が影響を受けることとなる。仕組みを正しく理解し、その上で有利な選択をしなければならない。今年度も2回のインボイス制度の研修会を予定しているので、ぜひ参加をしていただきたい。

令和3年分の確定申告相談も無事終わることができた。完全予約制導入から2年目、感染対策を取りつつ指導日程の前倒し、お一人様45分という短い時間内での申告相談ではあるが、会員の皆様のご協力をいただきながら今後も定着させていきたい。今回から、会のHPで予約状況が確認できるシステムの導入によりデジタル化に向け一歩前進したのではないかな。

この先もしばらくはWITH コロナ、会員企業にとっては厳しい経営環境が続くと思われる。ぜひ会計ソフトブルーリターンAを活用し、節税すべく青色申告控除を最大限に使い、記帳時間の短縮をはかり、今は踏ん張っていただきたい。

以上を基本方針として社会の動向を注視しつつ、各行政機関・関係諸団体と連携を図りながら、直面する諸問題に取り組み、健康・安全・安心を念頭に入れて、会員の皆様のお役に立てるように役職員の職能向上をはかり、サポートを強化していきたい。